

RL78/L13用CPUボード QB-R5F10WMG-TB ご使用上のお願い

RL78/L13用CPUボード QB-R5F10WMG-TB の使用上の注意事項を連絡します。

- AVREFM端子、AVREFP端子を使用する場合の注意事項

1. 該当製品

RL78/L13用CPUボード QB-R5F10WMG-TB Revision A

備考: 本CPUボードのRevisionはショートパッドの有無で判断できます。

ボード上に"AVREFP"と"AVREFM"という名前のショートパッドがある場合、Revision Aのボードです。

ショートパッドの位置は以下のドキュメントにてご確認ください。

(9月7日公開予定)

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=r20zz0151xj>

QB-R5F10WMG-TB Revision "A" 使用上の注意

2. 内容

以下の該当条件のいずれか、もしくは両方にあてはまる場合、CPUボードの端子接続が間違っているため、A/Dコンバータの変換結果が不正な値になります。

該当条件1: P20/AVREFM/ANI1端子をAVREFMとして使用する場合

該当条件2: P21/AVREFP/ANI0端子をAVREFPとして使用する場合

CPUボードの端子接続

端子 : 現ボード仕様 : 正しいボード仕様

P20/AVREFM/ANI1 : 電源(VDD) : GNDまたはオープン

P21/AVREFP/ANI0 : GND : 電源(VDD)またはオープン

上記の2端子をポート端子として使用する場合や、アナログ入力端子として使用する場合は問題ありません。

また、AVREFM端子が電源(VDD)に接続され、AVREFP端子がGNDに接続されていてもマイコンは故障しません。

3. 回避策

3.1 AVREFP端子を電源(VDD)へ接続し、AVREFM端子をGNDへ接続して使用する場合 CPUボード上で以下の処置を全て行ってください。

手順1: ショートパッド"AVREFM"および"AVREFP"の両方をカットしてください。

手順2: コネクタ"CN2"の21ピン(P21/AVREFP/ANI0)と23ピン(VDD)をショートしてください。

手順3: コネクタ"CN2"の22ピン(P20/AVREFM/ANI1)と1ピン(GND)をショートしてください。

3.2 AVREFP端子のみ電源(VDD)へ接続して使用する場合

CPUボード上で以下の処置を全て行ってください。

手順1: ショートパッド"AVREFM"をカットしてください。

手順2: コネクタ"CN2"の21ピン(P21/AVREFP/ANI0)と23ピン(VDD)をショートしてください。

3.3 AVREFM端子のみGNDへ接続して使用する場合

CPUボード上で以下の処置を全て行ってください。

手順1: ショートパッド"AVREFP"をカットしてください。

手順2: コネクタ"CN2"の22ピン(P20/AVREFM/ANI1)と1ピン(GND)をショートしてください。

注意:

いずれの回避策でも手順1のカットが不十分な状態で手順2や手順3の処置を行い、CPUボードの電源(VDD)を投入すると故障の原因となります。

手順1のカットは確実に行ってください。

また、処置の詳細は以下のドキュメントでご確認ください。(9月7日公開予定)

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=r20zz0151xj>

QB-R5F10WMG-TB Revision "A" 使用上の注意 (資料番号: R20ZZ0151XJ0100)

4. 恒久対策

Revision Aのショートパッド"AVREFM"および"AVREFP"をあらかじめカットしたものをRevision Bとして販売する予定です。

Revision AからRevision Bへの交換は行いませんので、Revision Aをご使用の際は「3.回避策」の処置をお願いいたします。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。
ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.